

第五章 Story 力（グループディスカッション）

この章では、多くの外資系航空会社の採用試験で取り入れられるグループディスカッションに欠かせない『ひらめき判断力』とそれらをつなぎ合わせ物語をつくる『ストーリー力』について学んでいきます。その前に、客室乗務員採用試験に限らず、様々な採用場面でみられるこのグループディスカッション。

そもそものようなもので、私たちの何をみられているのでしょうか？ これらのポイントを知っていれば、心にゆとりも生まれ、自分の見せ方、表現にも工夫が出来るのです。

【グループディスカッションとは？】

決められた時間内に、5～10 人程度が 1 つの輪（グループ）になり、与えられたテーマについて皆で話し合い、皆の意見・価値観・立場を尊重しつつ、最終的にグループとしての結論を導き出す作業をグループディスカッションという。稀に勘違いされている方も見受けられますが、相手の主張を自分の主張で論破することをよしとするディベートとは全く異なるものです。

【なぜ航空会社が採用試験にグループディスカッションを利用するのか？】

航空会社、特に外資系航空会社は、様々な国籍の人々と共に働く職場です。また、常に決まったメンバーと働くことはなく、フライト毎にチームが変わるという独特な職場環境です。

人の数が増えれば増えるだけ、多種多様の価値観や利害、立場が存在し、その様な状況の中で、上手く機能し協調しながら働くことが出来るかどうか、が会社にとっての重要なポイントとなります。そして、この適性を見抜くのにグループディスカッションが適しており、多くの航空会社で採用試験に利用されている理由です。